

作ルモノニアリテ夏季ニ在リテハ甚シク臭氣ヲ發シ屋內各室ノ空氣ヲ汚損シ且多數ノ蠅ヲ發生スル等健康保全上有害ナルモノアリ之等ニ對シテ漸次改善セシムヘク衛生思想普及宣傳ノ必要アルヲ認ム

十一、血族結婚其ノ他非衛生的ナル風習若ハ作業ノ改善

近親間ノ血族結婚ヲ敢テシ又ハ各地方特異ナル種々ノ非衛生的迷信若ハ風習又ハ養蠶時若ハ插秧時農繁期ニ於ケル極度ノ過劇勞働ニ依ル健康障礙ニ對スル豫防並恢復方法等ヲ細密調査研究シテ之ヲ改善スルノ良策ヲ案出シ以テ適當ナル衛生講話會ヲ開催シ又ハ印刷物ノ配付等ニ依リ指導宣傳ヲ爲スノ必要アリト認ム

十二、衛生思想ノ向上普及

文化ニ伴フ合理的ナル諸般ノ衛生施設ニ對シ敢テ之ニ反對ヲ試ミ若ハ何等ノ理由ナクシテ之ヲ拒否シ或ハ傳染病ノ隱散ヲ敢テシテ顧ミサルノ徒比較的農村ニ多キヲ認ム畢竟衛生思想幼稚ニシテ其ノ理解力ニ乏シキ結果ニ外ナラサルモノノ如シ故ニ隨時適切ナル講話、講習會等ヲ開催シ又ハ衛生繪畫其ノ他印刷物ヲ揭示若ハ配付スル等ニ働ク衛生思想ノ向上ト普及トヲ圖ルノ必要今後ニ於テ一層切ナルヲ望ム

(三五) 山 口 縣

一、農村ニ於ケル衛生状態ハ縣下各村落ヲ通シ大同小異樂觀ヲ許ササルモノアリ就中寄生蟲及結核病ノ蔓延ハ共通ノ問題ニシテ農村衛生上最モ緊要事トス從テ之カ豫防驅除ヲ勵行スルハ勿論一般民衆ニ自覺ヲ促シ豫防方法ヲ講スルコト最モ急務ナリトス故ニ農村衛生ノ改善ヲ期セムトセハ先ツ本病豫防ニ對スル農村ノ缺陷ヲ考究シ方策ヲ樹ツル要アリ其ノ主ナル點ハ

第一、寄生蟲ニ關スル知識ノ普及

農村ハ比較的衛生思想ニ乏シク殊ニ寄生蟲ノ如キ疾病ニ對シテハ全ク無頓着ノ状態ナルヲ以テ之ニ因ル慘害ヲ周知セシムルコト最モ肝要ナリ

第二、農村ニ於ケル食料品ノ改善

農村ハ各地ヲ通シ自給自足ニシテ日常生活上多クノ場合動物性食物ヲ攝ルコト少ク蔬菜食ヲ主トシ自然榮養不給ニ陥ルノミナラス之等ノ關係ヨリ寄生蟲ノ發生ヲ見ルニ至リ遂ニハ發育ヲ阻害ス故ニ安價ナル動物性食料品ノ供給方途ヲ講スル必要アリ

第三、農村ニ於ケル住宅ノ改良

之又困難ナル問題ナレ共農村ハ何レモ住宅ノ構造不完全不衛生的遺憾ノ點鮮ナカラス殊ニ寄生蟲ト直接關係ヲ有スル糞池ノ構造劣悪ナルモノ數フルニ違ナク加フルニ汚水溜排水溝肥料溜等不潔ナル箇所ニ對シテモ敢テ意ヲ用ヒサル傾アリ農村衛生上特ニ改善ヲ要スヘキ點ナリトス

第四、農村飲料水改良

村落ニ於ケル井戸ハ構造不完全ナルモノ多ク又農村ニハ往々河水ヲ飲用スル者アリ之等ハ氣象ノ變化異物ノ流下等ニ依リ絶エズ慘禍ヲ招キツツアリ農民ノ寄生蟲感染者多キハ又河水使用ニ其一因ヲ有スルモノト言ヒ得ヘク保健衛生上一般ノ改良施設ヲ行フ要アリ

第五、結核豫防施設

結核患者ハ近時都鄙ヲ通シ著シク増加ノ傾向アリ就中農村ニ於テ相當結核患者ノ増加ヲ見ル形勢アリ其ノ主ナル原因ハ都會ニ出稼セシ工場職工徒弟或ハ學生等該病ニ犯サレ已ムナク郷土ノ靜養ヲ試ムルモノ又ハ閑地ニ轉居靜養スルモノ往々アリ或ハ本病ヲ秘スル風習アルタメ不知不識ノ間ニ病毒ノ散蔓ヲ來シ早期發見ヲ困難ナラシムル等ノ關係上増加スルモノノ如シ而シテ之カ豫防ノ對應策トシテハ種々ナル方法竝ニ施設ヲ要スルモノアランモ感染素質ヲ供フル者ニ向テ個人免疫方法ヲ講スルヲ以テ最モ適切ナリト認ム

(三六) 和歌山縣

農村保健ノ改善ヲ爲スニハ農村ノ教育及經濟狀態ノ向上ヲ計ルト共ニ衛生思想ノ普及ニ努メサルヘカラス從テ普通教育ノ普及ハ勿論農作ノ改良及各地方ニ適好セル副業ノ獎勵等ヲ計ルニアリ

一、農村ニ於ケル住居(濕潤、採光不良等)生活法(食料、寢所、葬祭時、飲食等)ノ改善ハ一般衛生思想ノ普及ニ待タサルヘカラス即チ義務教育ヲ受クル者ニ對シ衛生上ノ知識(國定教科書其ノ他ニ於テ適當ニ教授スルコト等)ヲ一層與フルコトト共ニ一般各地特異ノ不良ナル點ニ付演劇、活動寫眞、無線電話、ポスター、パンフレット等種々ナル方法ニヨリ公衆ニ宣傳スルカ如シ

一、チフス赤痢マラリヤ等ノ地方的流行ニ對シ其ノ豫防驅除ヲ講セサルヘカラス即チ其ノ傳染狀態豫防法ノ周知ヲ計リ「マラリヤ」ノ如キ耕地整理、治水(排水改良)池沼ノ埋立ヲ行フ等根本的驅除方法ニ積極的施設ヲ望マサルヘカラス

一、農村衛生改善上吾人ノ最モ急務ト信スルモノハ本邦農村共通のニ慘害ヲ蒙レル腸寄生蟲ノ撲滅ヲ企圖スルコトナリ其ノ豫防ノ宣傳個人及農村糞池ノ改良例ヘハ農村ニ於テハ共同或ハ個人ニ於テ覆

蓋アル糞池ヲ作り充滿スルヤ組合等ニ於テ監督ヲ嚴重ニシ一定期間經過後汲取肥料トシテ使用セシメ一般民家ハ勿論農村ノ屎尿ハ前述ノ糞池ニ貯フルニアラサレハ使用セシメス尙如斯糞池ハ始メ非常ナル經費ヲ要スルヲ以テ國庫及地方費ヲ以テ補助ヲ爲スト共ニ低利資金ヲ利用スル等其ノ施設ヲ便ニスル要アリ其ノ他飲料水ノ改良（不潔ナル小川ノ水ヲ使用スル如キ不良ナルヲ以テ簡易水道ノ獎勵井水ノ改良ヲ計ルコト）下水道改良等ヲモ爲ササルヘカラス尤モ是等ノ改良ニ對シ必要ニ應ジ補助策ヲ講セサルヘカラス

(三七) 德 島 縣

農村保健問題タルヤ之ヲ改善シ向上セシムルノ方途因ヨリ一ニシテ足ラサルヘシト雖結局次ノ三者ニ歸着スヘキヲ信ス、即第一農村保健思想ノ涵養向上、第二農村保健ニ關スル機關ノ整備、第三農村保健ニ關スル設備、施設ノ完備即チ之ナリ而シテ之等ノ施設ヲ實行セムトスルニハ孰レモ多大ノ費用ヲ必要トス即チ農村經濟ニシテ豊富ナラサル限リ以上ノ施設ハ單ナル理想タルニ止マルヘシ從テ農村經濟ヲ豊富ナラシムルコト換言スレハ農村ノ振興ヲ圖リ若ハ其ノ内容充實ヲ期スルハ即農村保健改善ノ

第一步ニシテ其ノ行ハレタル後ニ於テ叙上ノ三施設ヲ實行スルハ農村保健ノ改善向上ヲ期スルノ順序ナルヘシ今叙上ノ三點ヲシテ項ヲ分ケテ叙述スヘシ

第一 農村保健ニ關スル思想ノ涵養向上

一、婦女子ノ保健思想ヲ向上セシムルコト從來保健思想ノ向上ニ關シテハ衛生ニ關スル講話又ハ講習會衛生展覽、劇作的活動寫真其ノ他各種ノ方法ヲ以テ宣傳行ハレツツアルモ農村保健改善ノ根本策トシテハ今少シク小學兒童ニ對シ一般衛生ノ知識ヲ多ク注入スルト共ニ規律アリ統一アル婦人團體ヲ組織シ成人婦人ニ對シ家庭ニ於ケル衛生及育兒ノ知識ヲ普及スルコトハ最モ必要ナルコトナリト信ス即農村婦女子ノ多クハ舊習ニ囚ハルルノ弊風アリ殊ニ婦女ハ家庭ニアツテ飲食ノ調理其ノ他衛生方面ニ對スル關係甚々密接ナルヲ以テ其ノ衛生知識ノ有無並多少如何ハ家庭ニ及ホス影響少カラス故ニ之等婦女ニ對シ平易ナル衛生的知識ノ涵養ヲ圖ルハ極メテ必要ナリト認ム

第二 保健ニ關スル機關ノ整備

一、市町村ニ衛生主任吏ヲ設置スルコト
市町村ニ衛生知識アル專任吏員ヲ置キ之ニ對シテ相當ナル地位ト待遇トヲ與ヘ永ク其ノ職ニ止ラシメ以テ其ノ地方特種ノ非衛生的因習ヲ打破シ改善ヲ計ルハ農村保健ノ改善向上ヲ圖ルニ於テ極メテ適當ノ方策ナルヘシト信ス

二、衛生組合ノ組織ヲ改善スルコト

既設ノ衛生組合ハ殆ト有名無實ニシテ其ノ實績ヲ舉ケ居ルモノ少シ而シテ之カ原因ノ多クハ組織上ニ於ケル缺陷ニ存スルモノノ如クナルヲ以テ公共團體タル市町村ト別個ノ獨立機關タラシメ自發的ニ活動セシムル様全國的ニ之カ規進ヲ定ムルノ必要アルヲ認ム

第三 保健ニ關スル設備改善

一、飲料水ノ改良ヲ圖ルコト

飲料水ハ保健上密接ナル關係ヲ有スルニ拘ラス其ノ多クハ不良ノモノナルカ如シ而シテ化學的検査ニ徵スルニ「アンモニア」ヲ含有スルモノ多クシテ飲料不適ノモノ約六〇%ニ達ス之カ原因種々アルヘシト雖便所トノ距離ノ餘リ接近セルカ如キハ其ノ主タル原因タルヘク相互間距離僅ニ二間以内ノモノ約半數ニ達スルノ實況ニ在リ尙他面井戸構造ニ對スル標準ノ存セサルコトモ亦其ノ一因ト思料セララルニ依リ全國的ニ之カ標準ヲ定メラルルト共ニ簡易水道ノ設置ニ對シテモ普通水道ト同様國庫補助ヲ與フルノ要アリト認ム

二、寄生蟲ノ發生豫防ト驅除トニ努ムルコト

農村ニ於ケル寄生蟲ノ蔓延ハ甚シク殊ニ蛔蟲ニアリテハ殆ント其ノ全部ニ涉リ而モ之カ危害ヲ及ホスハ主トシテ發育時ノ小兒ニ在リ故ニ之カ豫防ノ對策ヲ確立スルハ國民保健上忽諸ニ附ス能ハスト

認ムルニ依リ法令ヲ制定シテ豫防ト驅除トニ努ムルノ要アリト認ム

三、便所ノ構造ヲ改良スルコト

全國的ニ便所構造ノ標準ヲ示シテ之ヲ遵守セシムルト共ニ一面糞便ニ對シテハ一定ノ貯藏所ヲ設ケシメ十分酸酵ノ期間ヲ定メシムル等相當強制ヲ加フルニ於テハ寄生蟲驅除ノミナラス腸胃性ニ基ク傳染病豫防上ニモ至大ノ利益アリト認ム

四、農村家屋ノ建築方法ヲ改ムルコト

在來ノ建築法ハ衛生的方面ノ事情ヲ參酌セルコト少シ故ヲ以テ將來家屋ノ構造ニ對シテハ一定ノ標準ヲ示シテ衛生上ノ方面ヨリスル要求ヲ考慮シタル建築法ヲ採用スルノ機運ニ向ハシムルハ勿論之カ階梯トシテ建築ニ關スル技術者就中大工等ニ對シ衛生的概念教育ヲ施シ以テ建築上ノ改善ヲナスヲ極メテ必要ノ事項ナリト認ム

五、幼兒保護ニ關スル施設ヲナスコト

幼兒死亡率ノ比較的多數ナルハ肺炎及氣管支肺炎四六・二%下痢腸炎三二%其ノ他二一・八%ノ數字ノ示スカ如ク呼吸器疾患及消化器疾患中ノ特殊ノモノニ多シ而シテ之ヲ季節別ニ觀察スルトキハ下痢腸炎ノ多數ハ夏季酷暑ノ候ニ多ク呼吸器疾患ハ冬季ニ多シ而シテ之カ死因ノ主ナルモノハ家屋ノ構造保温裝置不十分ナルニ基クモノ多キモノノ如シ尙一年中死亡率最モ高キハ六月ナルカ右ハ農繁

季ニシテ母體勞務過激ニシテ乳兒哺乳不十分ナルニ基クモノト認メラル從テ之カ改善ノ方途トシテハ農繁季ノ如キニアリテハ相當素養アル婦女ニ囑託シ地方ノ神社佛閣等ヲ利用シテ臨時的託兒所ヲ開設セシメ晝間適當ナル人工營養方法等ヲ爲サシムルハ適當ナリト認ム尙此ノ外產婆分布適當ナラスシテ妊婦ノ保護出產當時ノ手當等ノ十分ナラサルニ基因スルモノモ多シト認メラルニ依リ之カ救濟方法トシテハ公營產婆設置ヲ獎勵スルノ必要アリト認ム

(二六) 香 川 縣

一、飲料水改良ノ件

本縣ノ如ク水質ノ比較的の不良ナル地方ニ於テハ住民ノ衛生的知識ヲ啓發シ強制獎勵ヲ待タス自ラ改善ノ工夫ヲナサシムル程度マテ進ムルノ必要アリ

一、飲食物ニ關スル件

本縣ニ於ケル農民ノ常食ハ甚シク粗惡ニシテ日常魚鳥肉等ヲ用フルモノハ極メテ少シ大人ノ勞働ヲナスモノハ多食スルヲ以テ能ク體力ヲ維持シ得ルモ小兒、老人ノ如キ非勞働ノモノニハ今少シク營

養價ノ多キモノヲ混食セシムル様營養學上ノ知識ヲ啓發スルノ必要アリ

一、住居ニ關スル件

本縣農家ノ住宅ハ概シテ南面シ瓦葺、白塗塗ノモノモ少カラス外觀ハ不良ナラスト雖モ其ノ屋內ハ住宅ト作業場ヲ兼ヌルモノ甚シキハ家畜ヲ置ケルモノアリ而シテ家ノ雨戸等ハ冠婚葬祭等ニアラサレハ開カス加之座敷ヲ南側ニ取り家人ノ起居ハ北側ノ通俗納戸ト稱スル終歲日光ノ透射セサル室ニアリ炊事場ノ不潔竈ハ煙突ナキ舊式ノモノニシテ屋內一面ニ煙ヲ漲ラシ居ルモノ多シ以上ノ如キ實情ナルヲ以テ作業場ト住宅ヲ別室トスルコトト便所、家畜舍等ヲ別棟トナスコトト住宅內ノ採光換氣ヲ良好ナラシムルコトト炊事場ヲ改良スルコト等衛生上ノ知識ヲ啓發シテ其弊ヲ矯正スルコトニカヲ用フル必要アリ然リト雖民度低キヲ以テ獎勵說得ノミニ待タス併セテ農村建築條例ノ如キモノヲ制定シ一面ニ於テ之ヲ強制スルノ必要アリト認ム

一、乳兒、幼兒保護ニ關スル件

保健調査ノ成績ニ鑑ミルニ本縣ノ如キハ農村ト雖乳兒ノ死亡率ハ著シク高ク其主タル原因ハ天賦薄弱竝ニ冬期ノ肺炎、夏期ノ消化不良タリ而シテ前者ハ父母體質ノ不健全殊ニ花柳病ト血族結婚ニヨルモノ多ク後者ハ哺育方法ノ不完全ニ關シ貧者ニハ死亡率多ク、富者ハ少ク、初産兒ニ著シク死亡多キカ如キハ之ヲ證シテ餘リアリ之ヲ救濟スルニハ衛生上ノ知識ヲ啓發シ花柳病ノ絶滅、血族結婚

ノ惡風ヲ除去シ發育不全ノ生兒ヲ滅セシムルコト更ニ哺育上ノ知識ヲ増進セシムル爲ニハ義務教育ヲ終ハリタル女子及若キ母ニハ補習教育トシテ村醫等ヲシテ一定ノ期間妊娠、分娩、哺育及看護上ノ事項ヲ教習セシメ一面ニハ公設産婆等ヲ置キ妊婦及乳兒ノ保護監督ニ當ラシムルハ最モ必要ナラシ

農村ニ於テハ時期ニ依リ家族學ヲ終日田圃ニ出テテ勞役シ家庭ニ老人等アルモノハ幼兒ノ保護ヲナスモ、斯ル保護者ナキ家庭ニ於テハ業務ニ追ハレ不得已放任ニ流ルル爲不慮ノ死亡等ヲ見ルコト尠カラス故ニ村又ハ部落ニ於テ公設託兒所ヲ設ケ保姆ヲ置キテ幼兒ヲ保育シ農繁ノ時期ト雖後願ノ慮ナク業務ヲナサシムル必要アリ

一、寄生蟲驅除ノ件

主トシテ蛔蟲ノ驅除ニツキ現今ニテハ補助金ヲ交附シ町村ニ於テ施行シ居ルモ此ノ如キコトハ終始之ヲ行フ能ハス又年一回位ノ驅除ニテハ効果少シ從テ住民一般自發的ニ各自行フ如キ習慣ヲ馴致スルノ必要アリ故ニ寄生蟲ニ關スル知識ト驅除ノ效果ヲ鼓吹シテ一般ノ知識ヲ啓發スルノ必要アリ而シテ最モ廣ク分布セル蛔蟲ヨリセハ延テ農村ニ多キ十二指腸驅ノ如キモノモ自ラ其知識ヲ得驅除モ行届キ得ルモノト信ス

一、醫療設備ニ關スル件

農村中山地、島嶼等人口稀少ノ地ニハ未タ醫師、産婆等ナキ地多ク急性ノ疾患、負傷、難産等ノ場合ニハ其困難少カラサルノミナラス延テ人命ニモ關係ス依テ醫療機關ノ均等普及ヲ圖ル第一歩トシテ先ツ村、部落等ニ於テ醫師其他ヲ置キ其費用ハ府縣費ヲ以テ少クトモ半額以上ヲ補助シ國家ハ府縣ノ支出ニ對シ同額ノ補助ヲナスコトヲ制定スルノ必要ヲ感ス

一、農村定休日ノ件

農村ノモノハ祭日等ノ外休業セス勤勉ナルモノハ連日劇勞ニ從事スルヲ以テ過勞ニ因スル不健康者多ク健康者ニシテ急ニ廢疾又ハ死亡スルモノモ尠カラス故ニ日曜日ノ如キハ勞働ヲナサシメス休養セシムル方法ヲ講スルノ必要アリ

以上ノ如キ改善ヲ要スヘキ點アリト雖未タ民度低ク現在少數ノ官公吏等偶々講話等ニ於テ之ヲ説クモ多數民衆ニ徹底セシムルコト困難ナルヲ以テ

一、小學兒童ノ教科書ニ保健ニ關スル課題ヲ増補シテ兒童ヲ教導スルコト

一、保健專任ノ官公吏ヲ各府縣ニ置キテ講習、講話、展覽會、活動寫眞等ニヨリ民衆衛生知識ノ啓發指導ニ任セシムルコト

一、建築物ノ如キハ以上ノ外尙法令ヲ以テ強制スル方法ヲ講スルコト

等ヲ併セテ實行スレハ農村ノ保健ハ著シク改善セララルモノト信ス

本縣ニ於テハ大正十年以來三ヶ農村ノ保健衛生實地調査ヲ施行シ相當ノ成績ヲ擧ケシモ未タ完全ナル歸結ヲ得ルニ至ラスト雖此等ノ成績ニ由テ縣下農村ニ於ケル保健狀態ノ大體ヲ考察シ以テ之カ改善ニ關スル方策ヲ記セントス

一、衛生思想ノ普及

農村ハ概シテ衛生思想幼稚ニシテ衛生ヲ等閑視スルノ風アリ殊ニ婦人ノ知識低級ニシテ家庭衛生ハ勿論妊産婦衛生ノ缺如トモ云フヘキモノ多シ之カ因トナリ保健狀態ヲ不良ナラシムヘキ場合鮮少ナラス故ニ講習會、講演會等ヲ開キ思想普及宣傳ニ努ムルヲ要ス

1. 一般講習會

一般衛生ニ就キ其ノ知識ヲ普及ス

2. 家庭講習會

主婦、處女ニ對シ妊産婦及小兒ニ關スル衛生及家庭衛生知識ヲ教養ス

一、醫療機關ノ完備

1. 村醫ノ設置

一般ニ醫師ハ便利ナ都會ニ集リ不便ナル村落ヲ厭フノ傾向アリ其ノ結果本縣ニ於テモ醫師ノ配置偏在シ醫師居住セサル村五十三ヲ算ス故ニ之等地方ニハ手當ヲ支給シテ村醫ヲ置クノ要アリ

2. 産婆ノ設置

村落ハ概シテ從來ノ舊式産婆ニテ偶正規産婆ノ開業スルモ依頼者ナク收支償ハスシテ直ニ廢業スルニ至ル故ニ之等ニ對シテハ手當ヲ支給シ公設トスルノ要アリ

一、飲料水ノ改善

飲料水ノ不良ナルモノ多ク且ツ飲料水缺乏ノ爲メ河水ヲ使用スルアリ保健上ハ勿論防疫上非常ノ障害ヲ來スコト少ナカラス而テ飲料水不良ノ原因ハ多々アルモ其ノ主ナルモノハ井戸構造ノ缺陷、排水溝ノ不備等ニシテ特ニ重要ナルモノハ左ノ如シ

1. 井戸ノ改善

構造ヲ完備セシメ凡テポンプ式トナス

2. 排水溝ノ完備

3. 濾過装置ノ簡易ナルモノヲ家庭ニ設クルコト

4. 河川水使用ノ禁止(汚流ノ取締)

一、腸内寄生蟲ノ驅除

農村衛生ノ改善ヲ要スル事項中最モ重要ニシテ且ツ緊急ヲ要スル問題ハ寄生蟲ノ驅除ナリトス其ノ蔓延廣汎ニ亘リ農民ノ十中八九ハ寄生蟲ノ侵ス所トナリ直接間接ニ其ノ害毒ヲ被リ居ルモノ多數ニシテ農民ノ死亡及罹病率ヲ高メ生産能力ヲ減スルコト甚大ナリ

1. 村民全般ニ對シ持續的ニ驅除ヲ勵行シ其ノ費用ハ村費或ハ他ノ公費ヲ以テ支辨ス之ニ對シ縣及國費ヨリ補助スルコト

2. 豫防法トシテハ(イ)耕地整理或ハ他ノ方法ニテ全村ノ排水ヲ良クシ濕地ヲ無クスルコト(ロ)便地ノ構造ヲ改善シ垃ニ糞便ノ取扱ヲ改良スルコト其ノ他河水溪流ノ使用ヲ避ケ野菜類ノ生食ヲ禁スルコト

一、家庭ノ改善

農家ハ一般ニ經濟ヲ主トシ衛生的ニ建築サレタルモノ少ク採光、換氣ノ不完全ナルモノ多シ其ノ改善ノ主ナルモノハ

1. 建築ハ凡テ家族本位トシテ客本位ヲ廢スルコト
2. 採光換氣ヲ完全ニスルコト殊ニ居室臺所ニ其ノ必要アリ

3. 便所ノ構造及其ノ位置ヲ改良スルコト

4. 竈ノ構造ヲ改良スルコト

5. 密居ノ弊ヲ避クルコト

一、酒精亂用ノ制止

農村ハ娛樂機關少キ結果飲酒ノ弊盛ナリ之カ直接間接ニ衛生状態ヲ不良ナラシムルコト實例乏シカラス之カ禁止若クハ制限ハ最モ必要ノ事タリ

一、粗食過勞ヲ避クルコト

現下農村ノ經濟状態ハ一般ニ不況ニテ之カ爲メ自然粗食以テ過重ノ勞働ニ從事スルノ傾向アリ其ノ結果不知不識ノ裡ニ營養不良ニ陥ルモノトス故ニ勞働時間ヲ制限シ安價ニシテ營養價ノアル食品ヲ供給スルノ方法ヲ講スルヲ必要トス(食物衛生ノ知識ヲ教示スルコト)

一、隔離病舎ノ改善

傳染病隱蔽ノ弊風ハ病舎ノ不完全ヨリ來ルコト多シ農村ニ於テ最モ然リトス故ニ病舎ノ完備ハ地方ニ於ケル傳染病豫防ノ第一義タリ

一、火葬場ノ設置

農村ニハ火葬場ヲ設置スルモノ少ク設ケアルモノ不完全ニシテ多クハ野外ニテ之ヲ爲ス爲メニ燒却完

全ナラス病毒傳播ノ危険アリ少クモ一村ニ一ヶ所ノ設置ノ要アリ

(四〇) 高 知 縣

本縣ニ於テハ大正九年以來吾川郡森山村、弘岡上ノ村、幡多郡富山村、長岡郡稻生村、杵美郡大楠植村(何レモ農村)ニ就キ一般死亡原因、乳兒死亡原因、及壯丁體格不良原因等ノ實地調査ヲ施行シ其成績ノ中森山村、弘岡上ノ村及稻生村ノ分ハ既ニ別途報告ヲ了シ他ハ目下編纂中ナルカ以下述ヘントスル愚見ハ右實地調査ノ結果痛感シタル事項ノ要約ナリ

第一 榮養ノ改善

理由一、榮養不良ナル部落ハ健康狀態不良ナリ

二、殊ニ母タル女子ニ於テ然リ從テ之レヨリ生レ出ツル子孫ハ此ノ儘ニ推移スレハ益々不良ニ赴クヘキ理ナリ

三、右地方ニ於テハ粗食ニ暴食ヲ伴フ

四、尤モ粗食暴食ハ今モ昔モ大ナル相違アルヘカラス從テ不良健康狀態ヲ之レノミニ歸スル能

ハサルヘキモ(周圍ノ環境並一般生活狀態ノ變遷ト連關シ)一大原因タルヤ論ナシ

方策一、食物ノ撰擇、取合、調理、養價、消化、榮養等ニ關スル知識ノ普及徹底(講習會、講話會、ポスター、パンフレット等)

二、生活必需品ノ廉價提供(購買組合、食品市場等)

三、飲料水使用水ノ改善(補助政策ヲ採リ改善セシム)

第二 勞働ト休養トノ調和(生活改善)

理由一、最モ憂慮スヘキハ乳兒哺育ノ任ニ當ルヘキ母ノ勞働時間徒ニ長クシテ身體的休養並睡眠時間短カキ爲メ乳質乳量ノミナラス一般哺育上ノ缺陷ヲ招來スルコト

二、一般的ニモ右ノ傾向アルコト

方策一、部落ノ申合ニ依リ公休日ヲ(例ヘハ一週一日―月二回)ヲ設クルコト

二、母ノ會(例ヘハ)ヲ起シテ母ノ勞休調和ノ實ヲ舉ケシムルコト

三、勞働ト休養トニ關スル知識普及ニ努ムルコト

第三 質實剛健ノ氣象涵養

理由一、近時農村子女ノ一般的弊風トシテ都會憧憬熱ニ浮カレ稍モスレハ勞ヲ惜ミテ功ノ多キヲ望

ミ夢幻ヲ追テ自己ヲ顧サルノ風漸ク盛ナラムトシツツアルコト

二、從テ不平不滿多ク仕事ニ着實性ヲ缺ク結果心身ノ健全ナル充實ヲ缺クノ風アリ

方策一、名士ノ講演會ヲ催シ着實性ヲ涵養スルコト

二、武術並運動ニ依リ剛健ノ氣ヲ養フコト

(學校青年夜學會等ヲ中心トシテ教員警察官有志等ヲ指導トシ)縣費其他ニ依リ多少手當支給

三、都鄙共相當遊園地ノ設置

四、運動體育ノ設備ノ充實(小學校運動場ヲ開放且其設備)ヲ整理スルコト

第四 酒ノ制限

理由一、酒量多キ地方ニ於テハ乳兒死亡死産離婚花柳病婦人其ノ他不健康狀態多キコト

二、蓋シ就中中産階級以下ノ家庭ニ於テハ生活ノ安定ヲ傷ケ全家族生活上ノ懊惱榮養不良生活不規則等ニ襲ハルヘキヲ以テナリ

方策一、知識ノ普及

二、禁節酒會ノ發達ヲ助成

三、娛樂ノ轉換(知識啓發、娛樂的運動設備ノ充實獎勵等)

第五 清潔觀念ノ養成並實行獎勵

理由一、被服、臺所、家庭ノ内外身ノ廻リ等ノ不潔ヨリ自己又ハ兒女ノ疾病ヲ招來スル實例多シ(例

ヘハ下痢腸炎寒胃等)

方策一、清潔觀念ノ修養(衛生思想普及方法ニヨリ)

二、衛生組合ノ鞭撻ニ依リ月番見廻ニ依リ清潔保持ノ實行

第六 寄生蟲調査驅除

農村ニ於テハ大約七—八〇%ノ寄生蟲保有者アリ之カ驅除ニ依リ發育榮養ノ挽回ニ努ム

第七 肥料制限

理由 本邦ノ如ク人糞尿肥料ヲ使用スル國ニ於テハ寄生蟲ノ藥物的驅除ハ恰カモ路傍ノ草ヲ採ルニ等シ故ニ若シ眞ニ寄生蟲豫防ノ目的ヲ達セムトセハ糞尿肥料ニ對シ相當ノ制限ヲ付セサルヘカラス

方策一、糞尿肥中ニ於ケル蟲卵ノ運命ニ付キ更ニ一段ノ研究ヲ重ヌルコト

二、一定期間腐敗セシメ又ハ何等カノ除害方法ヲ講スルニアラサレハ使用セシメサル法令ヲ設クルコト

第八 家庭ノ衛生狀態改善

農村ノ如ク屋外勞働地ニ於テハ不良家屋ニヨリテ被ムル衛生ノ危害左迄大ナリトハ認め難キモ改善ニ越シタルコトナシ

方策一、家主及家屋建築業者ニ對シ建築衛生上ノ知識ヲ普及セシムルコト

二、現在家屋ニ採光換氣床下ノ乾燥其他衛生上ノ改善ヲ獎勵スルコト

第九 教育ノ振興及知識ノ普及

理由 衛生上ノ諸問題ハ各自ノ理解自發ニ俟ツヘキモノ多シ而シテ理解自發ハ教育ノ普及ニ據ラサルヘカラス然ルニ農村教育ノ普及狀況ヲ見ルニ全ク無教育ノモノ三〇%内外ヲ算スル實況ニシテ前途遼遠ノ感切ナリ

方策一、國民教育ノ振興

二、實業補習教育ノ普及徹底

三、衛生教育

小學兒童ニ對スル衛生教育

一般國民ニ對スル知識ノ普及

第一〇 救 貧

理由一、乳兒死亡ハ貧民階級ニ最モ多シ(六〇—七〇%)

二、死産早婚(一四、一五歳頃ノ)多離婚死産、一般死亡其他不健康ノ事例モ亦然リ

三、一般教育問題、衛生教育問題等有謂問題ハ救貧政策ニヨリ最後ノ解決ヲ與ヘラル事情アリ

方策一、官公設ノ職業紹介事業勃興

二、慈惠救恤ハ惰民養成ノ弊ヲ醸ササル程度ニ留ムルコト

三、地方産業補習教育ノ普及徹底

四、資金融通ノ圓滑ヲ計ル(今日ノ信用組合ノ如キモノニ尙一層ノ改善ト運用上ノ刷新トニヨリ眞ニ貧民救濟ノ實ヲ舉クルコト)

五、産業勃興助成ノ爲メ獎勵金又ハ助成金ノ交付(公費)

六、貧民妊産婦ノ勞働ニ對シ一定ノ制限ヲ加ヘ(例ヘハ工場鑛業經營者ニ向ツテ)妊産愛護ノ實績ヲ舉クルコト

七、公費ヲ以テ貧民勞働者ノ託兒所ヲ設立スルコト(法令ノ力ニヨラサレハ農村ニハ普及困難ナリ例ヘハ公共團體ノ設立トシ此レニ府縣及國庫ヨリ相當ノ補助ヲ爲ス)

(四) 福岡縣

一、衛生思想ノ普及ニ努ムルコト

理由、農村保健状態ノ改善ヲ要スヘキモノ枚擧ニ遑アラスト雖之レカ施設改善ニ對シ眞ニ其ノ効果ヲ有効ナラシメムニハ根本義トシテ農村民ノ一般衛生思想ノ普及喚起ヲ圖ラサルヘカラサルニ依ル

二、衛生組合法ヲ制定スルコト

理由、現在ノ衛生組合ハ傳染病豫防上市町村ノ補助機關トモ稱スヘキモノニテ傳染病流行時ニアリテハ相當ノ効果ヲ擧ケツツアルモ公衆衛生ノ發達ヲ期スル上ニ於テ更ニ保健衛生ニ關シテモ互助ノ意味ニ於テ之レヲ善導シ活動セシムルハ農村保健状態ノ改善上最モ策ノ得タルモノト信スルニ依ル本件ニ就テハ已ニ大正十年名古屋市ニ於テ開催セラレタル全國衛生組合大會ノ決議トシテ内務大臣ニ陳情セラレタルヲ初メトシ爾來之レカ目的貫徹シ怠ラス當局ニ於テモ時世ノ進歩ニ伴フ當然ノ要求トシテ其ノ主旨ニ賛セラレタリト聞ク宜シク萬障ヲ排シ速カニ本法ノ制定セラレムコトヲ望ム

三、飲料水ノ改善ヲ圖ルコト

理由、保健及防疫衛生上至大ノ關係ヲ有スルハ飲料水ナルニ拘ハラヌ農村民ハ概シテ無頓着ニシテ河水ヲ飲用スル習慣アルハ甚タ寒心スヘキコトニ屬ス依テ之レカ使用ヲ禁止スルノ規定ヲ設クルノ要アラムモ若シ善良ナル井水ヲ得難キ場所ニ對シテハ完全ナル清淨裝置ヲナサシムルコトトシタシ又既設ノ井戸ニシテ構造不完全ナルモノハ改造ヲ命シ一面井水検査ヲ勵行スルト共ニポンプ式ニ改良セシムヘシ猶掘抜井戸若クハ簡易水道ノ布設ニ關シテ極力之ヲ奨励シ場合ニヨリテハ該工事ニ對シ府縣費補助ヲナスモ一策ナラム

四、寄生蟲ノ驅除ヲ勵行スルコト

理由、農村ニ於ケル人體寄生蟲殊ニ吾人ノ健康ヲ最モ害スル蛔蟲及十二指腸蟲ノ如キ其ノ蔓延ノ程度意外ニシテ本縣ニ於ケル保健衛生調査トシテ十三ヶ村ニ對シ大正八年ヨリ同十三年マテ一萬四千七百四十三人ニ對シ検査ヲ施行シタル結果ハ検査人員ニ對シ保卵者九三・〇七%ヲ示セルカ如キハ眞ニ驚クヘキ事實ニシテ之レカタメ農村住民ノ健康上最モ重大ナル惡影響ヲ及ホシツツアルモ亦否定スヘカラサルコトニ屬シ大ニシテハ國家ノ消長ニモ關スルヲ以テ之レカ驅除ニ就テハ極力勵行ヲ期セサルヘカラス

(右ノ主旨ニヨリ從來縣ノ支出シタル補助額ニ對シ國庫ハ其ノ三分ノ一ヲ補助シ來リシニ今回之レヲ六分ノ一ニ低下シタルハ如何ナル理由ニ依ルヤ判明セサルモ本事業遂行上一大打撃タルヲ失ハ

五、醫療及療屬機關ノ普及ヲ圖ルモトハ、前開諸ノ後、國庫ハ其ノ三、省ノ一、市町ノ一ニシテ、全國之ハ理由、我邦ニ於ケル醫師ノ分布ハ都會ニ集中シ村落ニ稀薄ナルハ事實ナリ殊ニ山間僻地ニアリテハ平素醫療ヲ受クルノ途ナク僅ニ賣藥ノ類ニヨリ對症療法ヲ自ラ行フニ過キス又産婆ノ如キモ同様農村開業ヲ厭フノ弊アリテ分娩時ニ際シテハ隣保相扶ケテ漸ク一時ヲ糊塗スルソノ状態ナルヲ以テ之レカ爲産婦ニ不慮ノ禍害ヲ來シ乳兒幼兒ノ保護不十分ナルタメ死亡スルモノ尠カラサル如キハ眞ニ寒心スヘキコトニ屬ス依テ之レカ普及ヲ圖ルハ刻下ノ急務トスヘク醫師産婆ノ開業スルモノニ對シ町村費若クハ縣費補助ヲナスモ一策ナルヘシ或ハ巡回醫巡回産婆ノ制ヲ設クルモ可ナラムカ
(醫師ノ分布カ都會ニ集中スル原因ノ一トシテハ文部省カ醫育ノ方針ヲ誤マリ從來ノ専門學校ヲ悉ク大學ニ昇格セシメタルニ由ルト批難ノ聲ヲ發スルモノアリ)

六、トラホーム、結核ノ豫防撲滅ニ努ムルコト
理由、トラホーム病ノ農村ニ浸潤シ其ノ根柢ヲ築ケルハ既知ノ事ニ屬ス又結核病ニ至リテモ現時ハ寧ろ都會ヲ凌駕シ殊ニ青壯年ニ多數ナルハ統計ノ示ス所ニヨリ明瞭ナリ今ニシテ之レヲ放置セムカ眞ニ國力ノ消長ニ關スル重大問題ナリト思惟ス之レカ豫防撲滅ニ就テハ元ヨリ容易ナラスト雖或ハ住宅ノ改善營養物攝取ノ改善等有ニル方法ヲ講シ之レカ對策ヲ講セサルヘカラスト思料ス
七、營養食品ノ撰擇指示ヲナスコト
理由、農村ニ於ケル常食ニ都市生活者ノ食物ニ比シ概シテ粗惡ニシテ從ツテ營養分ニ乏シ之レ農村民ノ營養不良ニ陥ル所以ニシテ例ヘハ中等學校入學生ニシテ農村生育者ハ都會生育者ニ比シ發育状態著シク劣等ナルニ徴スルモ明白ナリ勿論粗食ニ甘ニスル農民ニ對シ敢テ美食ヲ獎勵スルニアラサルモ空氣ノ新鮮ナル而カモ適當ニ身體ノ運動行ハルル田園生活ニモ適當ノ營養食品ヲ攝取セシムルニアラサレハ身體ノ發育ト保全ハ得テ望ムヘカラス然レトモ都會人士ノ常食スル高價ノ營養品ハ到底農村民ニ應用シ難キヲ以テ農村生産物中最モ營養ニ富メル食品ニ就キ研究ヲナシ(國立營養研究所ハ之レカ研究ノ責任アルヘシ)且ツ其ノ營養成分ヲ具體的ニ指示シ之レヲ獎勵スルニ於テハ農村住民ノ幸福之レニ過クルモノアラサルヘシ

八、住宅ノ構造ヲ衛生的ナラシムルコト
理由、由來我國民ハ衣食住ニ關シ一般ニ甚シク無頓着ニシテ之レヲ以テ誇下チヌ風習アリ近來文化ノ進歩ニ伴ヒ所謂文化生活ノ唱導セララルモノアルモ之ヲ閑人ノ遊戲視スルノ傾アリテ私生活ノ改善ヲ顧慮スルモノ尠キハ甚タ遺憾トスル所ナリ殊ニ農村ノ如キ全然之等ノ刺戟ヲ有セサル關係上沒交渉ノ状態ニ在リ然レトモ衣食住ハ人類生存上ニ至大ノ關係ヲ有シ就中住宅ノ如キ其ノ位置構造設備等ニ於テ之レカ設計ヲ誤ラムハ爲メニ衛生上ニ及ホヌ影響甚大ナルモノヲ以テ都市ノ其趣

ヲ異ニセル農村住宅ニ就テハ地理的關係ヨリ觀タル適不適及飲料水トノ關係或ハ採光ノ撰擇等之レカ指導機關ヲ設ケ其ノ地方ニ適當セル住宅ノ建設ヲ獎勵スルニ於テハ農村住民ノ保健上享受スル利益ハ頗ル莫大ナリト信ス

九、保健醫設置ノコト

理由、農村ニ於テ治療醫ノ外歐米先進國ノ例ニ倣ヒ保健醫ナルモノヲ一町村若クハ數箇町村聯合ヲ以テ設置シ傳染病ノ豫防ハ勿論各種保健的衛生例ヘハ結核、トラホーム、花柳病、寄生蟲病、地方病等ニ關スル調査若クハ指導ヲ司ルヲ主トシ其他家屋ノ建築井戸ノ新設其他諸種衛生的施設ニ關シ指導ノ任ニ當ラシムルヲ以テ目的トスルモノニシテ農村保健狀態改善上主要機關ト信スルモ之レカ實現ニハ幾多ノ困難アリト思料スルヲ以テ茲ニ唯理想トシテ意見ヲ開陳スルモノナリ

十、肥料溜設置ヲ獎勵スルコト

理由、農村ニ寄生蟲並ニ傳染病(殊ニチフス)ノ多キハ彼等ノ習慣トシテ生肥ヲ使用スルニ依ル之レニ反シ人糞ヲ一定期間貯藏シテ之レヲ腐敗セシムレハ糞便中ノ寄生蟲ハ元ヨリ傳染病原菌ハ悉ク死滅シ之ヲ使用スルモ何等ノ危害ヲ及ホスコトナキニヨリ肥料溜ノ設置ヲ一般ニ獎勵シ場合ニヨリテハ之レニ對シ縣費補助ノ改策ヲ採ルモ可ナラム

十一、共同浴場建設ヲ獎勵スルコト

理由、衛生思想ノ低級ナル農村民ハ概シテ入浴ヲ厭フノ弊アルヲ以テ町村ヲシテ管内居住者ニ適應シテ若干ノ共同浴場ヲ建設セシムルノ要アルニ依ル

(四二) 大 分 縣

全國民ノ大多數ヲ占有スル農村民ノ保健狀態ハ國民保健上重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ衛生施設改善ニ依リテ農村住民ノ健康ヲ保全シ且ツ其増進ヲ企圖スルハ極メテ緊要ナル問題ナルヲ以テ之カ方策トシテハ苟モ農村住民ノ生活ニ關聯セル衛生上諸般ノ事項(即住宅ノ改善、飲料水ノ改善榮養狀態ノ改善、人體寄生蟲ノ驅除、救療機關ノ普及等)ニ就テハ須ク之カ對策ヲ講究シ特別施設ノ實現ニ依リテ保健狀態ノ改善ニ努ムルヲ要ス

而シテ衛生施設ノ改善ハ農村ノ振興策トシテ重要ナル意義ヲ有シ之カ實施ニ當リテハ自治體ノ活動ニ俟ツモノ極メテ多シト雖現代一般ニ疲弊セル農村ニ於テハ自發的ノ活動ヲ期待スル事極メテ難事ニ屬スルヲ以テ先ヅ政府ニ於テ各地方ニ適應セル統一的ノ對策ヲ確立セラレ一定ノ方針ノ下ニ漸次之カ改善進歩ヲ企圖セラルルヲ以テ時代ニ順應セル方策ナリト認ム

上記ノ如ク保健衛生上ノ見地ヨリ論ズレハ改善ヲ要スヘキ事項ハ衣食住ノ三方面ニ涉リ極メテ多シト雖モ就中急ヲ要スヘキ問題ハ農村保健調査ノ成績ニ鑑ミ左記事項ノ改善ニ關シ特別ノ施設ヲ講ズルハ農村ノ保健狀態改善上緊要ナルモノト認ム

一、飲料水改善ニ關スル方策

保健衛生上重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ縣ニ於テハ大正五年以來縣下飲料水ノ検査ヲ勵行シ大正十二年末ニ至ル間ニ於テ二萬四千九十八個ノ検査ヲ施行シ内不良水一萬二千七百二十七個（四七パーセント）ヲ發見セリ更ニ細菌検査井ノ構造井周圍ノ狀況（即便所汚水溜堆肥等ノ距離等）ヲ參酌スルトキハ飲料ニ適合セル井水ハ著シク其合格率ヲ減スヘシ且ツ農村中河水ヲ使用スルモノアリ如斯ハ氣候ノ變化異物ノ混合ニ依リテ絶エス影響ヲ受クルノミナラス上流ニ於テ傳染病發生セル場合ニ於テ其下流ニ沿ヘル村落ニ傳染病患者ノ多發ニ依リ悲惨ナル禍害ヲ招キタル事例決シテ尠カラス且ツ都會ノ住民ニ比シ農村ノ住氏カ寄生蟲ノ危害ヲ被ムルモノ甚ダ多ク實ニ河水ノ使用亦其ノ一因タルヲ以テ將來飲料水ノ改善ニ就テハ一般ノ注意ヲ喚起スルノ要アリ縣ニ於テハ飲料不適ノ井水所有者ニ對シテハ設備ノ改善ニ就テ指示シ以テ之カ實行ヲ促進シ一般住民ニ對シテハ衛生講話パンフレットノ配布等ノ方法ニ依リテ飲料水ニ對スル一般ノ注意ヲ喚起スルト共ニ之ニ知識ヲ附與シ水質不良ナル箇所ニ對シテハ簡易水道ノ布設ヲ獎勵シ居レリ即井水ハ其構造周圍ノ狀況等ノ關係ニ依リ

水質ニ影響ヲ及ホス事大ナルモノアルヲ以テ將來ニ於テハ飲料水汚染ノ程度ヲ輕減スルノ一方法トシテ新設井ニ對シテハ申請認可制度施行ノ方針ニ出ツルハ飲料水改善上ノ方策トシテ極メテ意義アリ且ツ緊要ナル方法ナリト認ム

二、人體寄生蟲ノ驅除撲滅ニ關スル方策

農村住民ノ體格一般ニ不良ナルハ榮養ノ缺陷又至大ノ原因タリト雖モ全國農村ニ廣ク蔓延セル人體寄生蟲ニ關スル危害ノ如キ實ニ重大ナル關係ヲ有スルモノニシテ殊ニ發育期ニ於ケル兒童ニ於テ體格發育程度ノ劣弱ナルハ顯著ナル事實ニシテ農村ニ於ケル寄生蟲問題ハ農村衛生上最モ肝要ナルヲ以テ本省ニ於テハ豫防撲滅ノタメ地方ニ補助ヲ與ヘ之カ督勵ヲナシツツアル結果漸次地方民ノ自覺ヲ促スニ至リシハ豫防撲滅上洵ニ喜フヘキ現象ナリトス然ルニ大正十四年度ニ於テハ之カ補助費ヲ減額セラルルカ如キハ時期尙早ノ感ナキ能ハス此種ノ重要ナル性質ヲ有スル補助費ハ獎勵的ノ意味ニ於テ適當ノ時機ニ増額セラレム事ヲ望ム

寄生蟲ノ驅除勵行洵ニ必要ナル方法タリト雖之カ蔓延ノ根源タル糞便ニ對スル處分方法（現今ニ於ケル尿尿混合ニヨル腐敗醱酵方法ニ比シ更ニ有効ナル蟲卵撲滅方法トシテ）即成蟲及蟲卵ノ撲滅上最モ經濟的ニ有効ナル且ツ糞便ノ肥料トシテノ價值ヲ損セサル化學的藥品ノ發見ニ努ムルハ寄生蟲問題ノ解決上最モ必要ニシテ農村救濟上顯著ナル効果ヲ齎セヤ明ナリ故ニ農村住民ノ寄生蟲ニ關ス

ル知識ノ啓發並糞便ノ處分方法ヲ講スルヲ以テ重要ナル方策ト認ム

三、救療機關ニ關スル方策

我國ニ於テハ醫師ノミナラス藥劑師產婆看護婦ノ如キ救療機關ノ分布ハ一般ニ都會集中ノ傾向アリテ農村ニ於テハ醫師產婆ノ缺乏又ハ不便ノタメ信用スヘカラサル賣藥業者ノ横行甚シク又結果不慮ノ禍ヲ蒙ル事尠シトセス又出産時ニ產婆ノナキ爲嬰兒ノ死亡スルモノ亦尠カラス仍テ將來ニ於テハ農民ノ福利増進上ノ施設トシテ救療機關ノ普及ヲ講スルハ農民ノ保健衛生上忽諸ニ附スヘカラサルモノアルヲ以テ政府ニ於テモ醫師ナキ農村ニ對シテハ公醫制度ヲ設ケ之カ優遇ノ方法ヲ講スルト共ニ一面公設產婆ノ設置其他乳幼兒保護ニ關スル特殊ノ施設ヲ講スル如キハ當面ノ問題トシテ緊要ナル對策ナリト認ム

要スルニ近時農村ニ於ケル住民ノ榮養狀態及體格殊ニ兒童ノ體格カ其ノ體重身長胸圍ニ於テ本邦健體小兒ノ各年齢別標準ニ比較シ不良ナル結果ヲ示セル事ハ農村保健調査ノ成績ニ依リ明瞭ナル事實ニシテ保健衛生上洵ニ憂フヘキ現象トス而シテ之カ理由ニ至リテハ明確ニ之ヲ立證スル事能ハスト雖モ農民ノ榮養物攝取ノ關係及農村ニ於ケル疾病ノ驚クヘキ蔓延カ其主要ナル原因タルヘク其ノ他都市又ハ工場等ニ依リ輸入セラレツツアル肺結核カ漸次農村ヲ侵襲シツツアル事實及土地ノ汚染セル關係上種種ナル人體寄生蟲ノ爲榮養ヲ侵サレ高床ノ貧血ヲ起セルモノ多キカ如キハ農村住民ノ體格ニ影響スル

重要ナル原因タルヘシ如斯農村ニ於ケル保健衛生上改善スヘキ缺陷甚タ多ク一朝ニシテ之カ改善ノ實績ヲ收ムル事ハ極メテ難事トス然レ共農民カ衛生ニ對スル知識ノ普及セル曉ニ於テハ農村ニ共通セル榮養問題ノ改善住宅ノ衛生的諸施設ノ改善寄生蟲ノ豫防驅除等ノ問題ヲ解決シ得ル事ハ難事ニ非サルヘク先ツ農村住民ノ衛生的思想ノ啓發ヲ企圖スルヲ以テ睫眉ノ先決問題ト認ム即農村保健狀態ノ改善ハ個人衛生的思想ノ普及向上及ヒ公衆衛生施設ノ實現ニ俟ツモノ頗ル多ク之カ一方途トシテ中央ニアリテハ國民教育時代ニ於テ衛生上須要ナル事項ヲ小國民ニ理解セシムルノ方法ヲ講シ地方ニアリテハ自治體ヲ督勵シ以テ衛生講話展覽會活動映畫ボスター其他種々ナル方法ニヨリテ農村住民ノ衛生ニ對スル自覺ヲ促進スルト共ニ衛生組合法ノ制定ニ依リ特種ノ衛生的機關ヲ設置シ中央地方共ニ連絡ノ下ニ劃一セル方策ニ依リテ民衆ノ衛生的自覺ト相俟テ以テ之カ達成ヲ期スルニアリ

(四三) 佐賀縣

農村保健狀態ノ改善ニ關シテハ各村ノ現狀ヲ精査シ其ノ實狀ニ應シテ各所適切ナル施設ヲ講スルヲ以テ改善ノ對策トナシ得ルモ既往ノ狀況ニ鑑ミ各村共通事項ニ對スル當面ノ方策トシテハ先ツ左記各項

ノ實施ヲ改善ノ要諦ナリト被存候...

一、衛生機關ノ完備充實
1. 各村ニ保健衛生ノ專任技師ヲ設置シ衛生思想ノ宣傳、改善ノ指導、保健衛生ノ調査、研究等ニ從事セシムルコト

2. 各村ニ村醫、産婆及看護婦ヲ常置シ營造物トシテ巡回診療又ハ療養ノ指導等ヲ爲サシメ以テ醫療上ノ缺陷ヲ補足セシムルコト

3. 村立病院(土地ノ状況交通ノ關係ニヨリテハ數ヶ町村聯合ノ上設立スルモ可ナリ)ヲ設備シテ住民醫療ノ完璧ヲ期スルト共ニ傳染病室ヲ併置シ従前隔離病舎ノ不備缺陷ヨリ來ル患者隱蔽ノ弊風ヲ改善セシムルニアリ
現今數人開業醫アル農村ニ於テハ公費ヲ以テ完全ナル病院ノ建築設備ヲナシ現住各醫ニ委託シテ共同經營ヲナサシムルモ一方法ナリ

二、汚物ノ處置

農村ハ土地廣ク人口稀薄ナルヲ以テ人畜ヨリ出ツル病原的汚物ハ土壤、流水及空氣ノ自淨作用ニ依リ無害ノ状態ニ處理セラルルカ如キモ各所ニ於ケル實地調査ノ結果ハ其然ラサル現象ヲ示セリ殊ニ田圃ニ肥料トシテ使用セラレツツアル糞尿ヨリ來ル細菌及寄生蟲ニ因スル疾病ノ豫防ハ農村衛生トシテ重大ナル事項ニ屬ス

然ル處從來糞尿ノ處置トシテ行ハレツツアル肥溜ニ貯藏シ自然酸酵ニヨリ有害病原體ヲ死滅セシムルノ方法ハ最モ簡便ニシテ實際的ナルモ其ノ貯藏ニ關シ一定ノ期間ヲ要シ又糞尿取扱ニ相當ノ注意ナカルヘカラス
依テ各村ニ糞尿肥料取扱條例ヲ設ケシムルカ又ハ各部落ニ糞尿組合ヲ組織シ多數ノ肥溜ヲ築造シテ無害性トナセシモノヨリ順次使用セシムル方法ヲ講スルコト肝要ナリ

(四) 熊 本 縣

一、内務省ニ衛生宣傳課ヲ又府縣廳ニ同係ヲ特設スルコト

一、郡役所、警察官署、町村役場ニ衛生專務ノ吏員ヲ常置スルコト

一、衛生組合法ヲ制定シ有力ナル組合ノ活動ヲ促スコト

一、地方費、町村費ノ補助ヲ與ヘ醫師産婆ノ普及ヲ圖ルコト

一、村費ニ防疫費ノミナラス進ムテ保健衛生費ヲ計上セシメ國庫及地方費ヨリ補助ヲナスコト

一、衛生吏員、衛生組合役員、學校教員、僧侶、村醫、産婆、看護婦、鍼灸、按摩術業者等ニ對シ豫防醫學ノ徹底的教育ヲ施スコト

- 一、青年會、處女會等ニ對シ農村ノ衛生狀態ト其ノ不良ノ原因ヲ指摘シ其ノ損害ト之レカ改善ノ効果等ニ關シ豫防醫學ノ眞價ヲ理解セシメ現在ノ治療醫學偏重主義ヲ打破スルコト
- 一、青年會處女會等ヲシテ率先非衛生的惡風陋習ヲ打破改善ノ實ヲ圖ラシムルコト
- 一、産婆、主婦ニ對シ産科、育兒ニ關スル知識ヲ向上セシムルコト
- 一、運動競技其他身體鍛鍊ノ方法ヲ獎勵スルコト
- 一、飲料水ノ改良規定ヲ設ケ補助ノ途ヲ開クコト
- 一、住宅、便所、下水ノ改良ヲ圖ルコト
- 一、寄生蟲(十二指腸蟲蛔蟲)豫防驅除ニ關スル規定ヲ發布スルコト
- 一、昆蟲ノ徹底的驅除ヲ行フコト
- 一、傳染病、結核、トラホーム、花柳病等ノ豫防施設ヲ勵行スルコト
- 一、衛生關係營業者ノ取締ヲ勵行スルコト
- 一、養豚、養鶏、養魚等ヲ盛ナラシメ榮養ノ改善ヲ圖ルコト
- 一、農村ノ經濟狀態ヲ良好ナラシムルコト

(四五) 宮 崎 縣

農村ニ於ケル保健衛生ノ向上ヲ期セムニハ一般衛生思想ノ涵養習俗ノ改善其ノ他各般ノ施設ト共ニ官憲ノ熱誠ナル指導ト民衆ノ自衛的努力ニ待ツニアラサレハ到底良好ノ業績ヲ舉クルコト能ハサルヘシ農村ノ保健衛生改善上有要ナリト認ムル事項ヲ舉クレハ概ネ左ノ如シ

一、農村住宅地及家屋

農村ノ宅地及屋舎ノ建築ハ概シテ衛生上不健康ニ屬スルモノ多ク射光通風適良ナラス加フルニ土地濕潤排水不良ニシテ農家一日ノ勞苦ヲ慰スヘキ居室ノ如キハ清潔法充分ナラス採光換氣不良ニシテ一層不適ノ感ヲ深フスルモノ尠カラズ之カ改善ハ容易ノ業ニアラスト雖居住地ノ設定移轉又ハ屋舎ノ建築改造等ニ對シテハ之カ撰定指導ヲ爲スヘキ機關ヲ設ケ漸次衛生的ノ住宅ニ改メ健康ノ保全ニ努ムルノ要アリトス

二、農村ノ榮養

體育ノ獎勵ハ各方面ニ涉リ必要ナルハ論ヲ俟タス農村ニ於テモ體育運動ヲ云々スルモノアリト雖農村今日ノ狀態ニアリテハ運動不足ノ如キハ認メ難ク寧ロ勞動過劇ニシテ勞動的體力消費ト補足的榮養攝取トノ調和ヲ缺キ榮養不良ノ狀態ニアルノ感アリ此事タル元ヨリ勞養物不給ノ爲メノミニアラ

サルヘク尙ホ他ニ諸般ノ原因アルヘシ之ニ對スル改善ハ生計ノ關係其ニ他生活ノ狀態等各方面ニ涉リ考慮ヲ要シ頗ル難事ナルヘキニ至リテ是ニ對スル知識ヲ涵養普及ノ道ヲ講シ順次榮養學的衛生上ニ適合スル指導ヲ爲スノ要アリトス

三、農村ノ飲料水及便所

農村ノ飲料水ハ山間部落ニ於テハ泉水又ハ流河水ヲ飲用スルモノアルモ一般ニハ井水ヲ使用シ水質ハ概シテ良好ナルモ井戸ノ構造不完全ニシテ汚水ノ滲入スルモノ尠カラス又々便所糞池ノ構造不完全ニシテ傳染病又ハ寄生蟲蔓延ノ泉源トナルコト多シ故ニ之レ等ノ新設改造ニ對シテハ一定ノ方式ヲ指示シ且ツ補助規定ヲ設ケ以テ改善ノ指導獎勵ニ努ムル要アリトス

四、農村ノ寄生蟲豫防及驅除

農村ノ衛生狀態ヲ不良ナラシメ生産働カヲ削減スルモノ一、二ニ止マラスト雖寄生蟲ヲ有シ健康ヲ害セラルル者多キハ最モ注意スヘキモノナリトス寄生蟲ノ侵害廣汎ニ及ヘル今日ニ於テ之カ豫防驅除ヲ實施スルハ緊急事ナリト雖モ其事タル容易ノ業ニアラス寄生蟲ノ傳染源タル肥料使用法ノ不適關係ハ特ニ考慮スヘキ問題ニシテ井戸便池ノ改造食物及糞便取扱方法、肥料使用法等ニ關シ衛生的指導ノ道ヲ講シ寄生蟲ニ關スル知識ノ普及ニ努メ一面補助ノ方法ヲ設ケテ之カ徹底的驅除ノ獎勵ヲナス必要アリトス

五、農村ノ婦女及乳兒保育

農村ニ於ケル妊産婦婦ハ概シテ平攝養素ノ宜敷ヲ得ス之レ等ノ婦女ニシテ常ニ過劇ノ勞働ニ服シ流産早産乃至産褥ノ經過ヲ不良ナラシメ諸種ノ婦人病ヲ惹起シ永年健康ヲ損シ空シク病床ニ呻吟スルモノ尠カラス又々乳兒保育ノ方法不良ニシテ農村乳兒ノ死亡者比較的多キハ實例ニ乏シカラス故ニ産前産後及乳兒保育ニ關スル知識ノ涵養ニ努メ又々妊産婦及乳兒ノ保護機關ヲ設ケ以テ衛生狀態ノ改善ヲ計ルノ要アリトス

(四六) 鹿兒島縣

一、保健ニ關スル法令制定ニ關スル件

個人衛生ニ屬スル事項ニ就テハ現在個人ノ啓發ヲ本能トシ自發的處理ニ委スルノ外途ナキノ結果各種國體ニ於テハ相當宣傳ノ方法ヲ講シ之ヲ知識ノ涵養ヲ焦慮スルト雖文政布カレテ五十有餘年何等著シキ自覺ノ形跡ナキハ聊カ隔靴ノ感ナキ能ハス殊ニ農村ノ衛生狀態ハ都市ノ文化集中ニ反比スル趨勢ナルヲ以テ此ノ儘推移セムカ農民體格ノ低下延ヒテ國本ノ基礎ヲ危クスル虞ナキニ非ス單ニ個人衛生ノ向上ニ俟ツ牛歩ヲ施設ス極メテ迂遠ヲ憾アルヲ以テ此ヲ放任スルニ於テハ國家衛生ノ要件ニ一層ノ缺陷ヲ招致スルモズリ下認ム須ク國家正シテ一日以苟安ヲ容ササ此環境ノ改

善ニハ宜シク法規ヲ制定シテ或程度迄ハ補助政策ノ下ニ其ノ義務ヲ強制シ缺陷ノ匡正ヲ速進スルハ刻下ノ急務ナリト思料ス、即チ住宅ノ改善、飲料水ノ設備、肥料尿尿ノ處理等個人衛生ニ屬スル事項ニ對シテハ一定ノ規矩ヲ示シ自治團體ノ施設ニ關シテハ

イ、衛生指導員ノ設置

産業方面ニ關スル指導ノ爲メ指導員ヲ設置シ相當ノ効果ヲ收メツツアルカ如ク農村衛生ノ指導監督ノ任ニ當ラシムル目的ヲ以テ町村ニ相當經驗技能アル衛生(體育)指導員ノ設置ヲ命シ直接改善ヲ企圖セシメ

ロ、妊産婦兒童ニ對スル保護機關ノ設置

農村ニ於ケル療屬均配ノ缺ヲ補フ爲メ町村ニ巡回産婆巡回看護婦ノ設置ヲ命シ妊産婦兒童ノ保護ニ充ラシム

等ノ事項ニ對シ強制ノ方法ヲ講スルハ農村衛生改善ノ捷徑ナリト思料セラレ

一、衛生組合ニ關スル特別規定制定ノ件

本縣ニ於テハ衛生組合ノ活動ノ範圍ヲ單ニ傳染病豫防ノ事務ノミナラス一般衛生上ノ事項ニモ及ホサシメ尙郡市縣聯合會ヲ組織セシメ以テ各組合ノ統一ヲ計リ歩ヲ一ニシテ其ノ及ハサル組合ノ助長ニ努メツツアリト雖組合機能ヲシテ各般ノ衛生事項ニ亘ラシムルニ困難ナル場合アリ故ニ特別法規

ノ下ニ之カ設置ヲ命シ其ノ活動範圍ヲ擴充セシムルノ必要ヲ認ム

一、衛生思想普及ニ關スル件

イ、衛生思想普及ノ方法ニ關シテハ農村ノ娛樂トシテ最モ適當ナル活動寫眞、演劇ヲ利用スルヲ有效ト認ムルモ活動寫眞ノ如キ其ノ「フキルム」ハ比較的多額ノ購入費ヲ要スルノミナラス同一地方ニ於テ同一「フキルム」ノ再映ハ好マシカラサルヲ以テ「フキルム」ハ主務省ヨリ時々新品ヲ取替ヘ地方ニ貸與ノ方法ヲ講セラルルカ若ハ極メテ低廉ニ地方ニ讓與ノ途ヲ講セラルルヲ必要ト認ム

ロ、前段ノ方法ニヨリ衛生思想ノ向上ヲ計ルト雖從來ノ經驗ニ徵スルニ多クハ一過性ノ宣傳ニ終リ有終ノ目的ニ副ハサルノ感アルヲ以テ義務教育期間ニ於ケル一定年齢ノ兒童ニ對シ特ニ衛生ニ關スル必修課目ヲ設クルコト

ハ、敎職者殊ニ小學校敎員ニシテ衛生ニ關スル知識極メテ貧弱ナルモノアルヲ以テ特別ノ教育ヲ要ス

一、醫學ノ素養アル者ニ對シ限地開業ノ制ヲ設クルノ件

本縣ノ如キ島嶼村落ノ多キ地方ニ在リテハ土地出身ノ醫師アルモ總テ他ニ移住シ一名ノ開業醫スラ無キモノ十餘ヶ村落ヲ算ス而モ斯カル村落ノ多クハ財政貧弱ニシテ難ク備置スル能ハサルノミナラ